

6 建 住 第 70 号 の 71

令 和 7 年 5 月 2 9 日

国民宿舎 あらふねリゾート

代表 渡辺 千鶴香 様

和歌山県知事職務代理者

和歌山県職員 福 本 仁 志

(公 印 省 略)

定期報告の建築設備の改善について (通知)

建築基準法第12条の規定に基づき提出のありました、あなたが管理されている下記の建築設備を防災面から審査した結果、改善されるべきところは別記注意事項のとおりでありますので早期に必要な措置を講じてください。

記

建築物の名称	国民宿舎 あらふねリゾート
用 途	ホテル・旅館
台 帳 番 号	東4設1

※お知らせ

令和3年1月1日から報告書の様式が改正され、押印が不要となりました。

また、これに併せて、本県からの通知も公印省略としました。

別 記（建築設備）

台帳番号

東4設1

注 意 事 項

内 容	
建築設備を検査した者から下記のとおり、検査の状況について報告があったので、該当する事項について、必要な措置を講じてください。 なお、今後においても防災上適正な維持管理をされるとともに次回からの報告時期においても引き続き報告書を提出されますようお願いいたします。	
調査等の概要	指摘の内容
1 換気設備	指摘なし
2 排煙設備	該当なし
3 非常用の照明装置	要是正の指摘あり
4 備考	

※ 改修等について、不明な点があれば県庁建築住宅課又は振興局建設部建築課・建築グループまでお問い合わせください。

第三十六号の六様式（第六条、第六条の二の二関係）

定期検査報告書

（建築設備（昇降機を除く。））

台帳 番号	東4	設	1
----------	----	---	---



（第一面）

建築基準法第12条第3項の規定により、定期検査の結果を報告します。

この報告書に記載の事項は、事実と相違ありません。

特定行政庁 和歌山県知事 様

令和 7 年 4 月 22 日

報告者氏名 国民宿舎あらふねリゾート代表 渡辺千鶴香

検査者氏名

【1. 所有者】

【イ. 氏名のフリガナ】 コミュニティ・アラフネリゾート・ホテル・パナソニック
 【ロ. 氏名】 国民宿舎あらふねリゾート代表 渡辺千鶴香
 【ハ. 郵便番号】 649-4112
 【ニ. 住所】 和歌山県東牟婁郡串本町田原2518-1 2519-1
 【ホ. 電話番号】 0735-74-0124

【2. 管理者】

【イ. 氏名のフリガナ】
 【ロ. 氏名】 同上
 【ハ. 郵便番号】
 【ニ. 住所】
 【ホ. 電話番号】

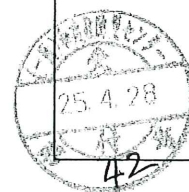
【3. 報告対象建築物】

【イ. 所在地】 和歌山県東牟婁郡串本町田原2518-1 2519-1
 【ロ. 名称のフリガナ】 コミュニティ・アラフネリゾート
 【ハ. 名称】 国民宿舎あらふねリゾート
 【ニ. 用途】 旅館

【4. 検査による指摘の概要】

【イ. 指摘の内容】 ☒ 要是正の指摘有り （ ☐ 既存不適格 ） ☐ 指摘なし
 【ロ. 指摘の概要】 非常用照明器具の不具合 器具の交換 電池替え
 【ハ. 改善予定の有無】 ☐ 有 令和 年 月に改善予定 ☒ 無
 【ニ. その他特記事項】

※受付欄	※特記欄	※整理番号欄
令和 年 月 日 第 号 係員氏名		

※（一財）和歌山県
建築住宅防災センター欄（センター業務登録
設備 第 461 号）

(第二面)

建築設備の状況等

【1. 建築物の概要】

【イ. 階数】 地上 3 階 地下 階
【ロ. 建築面積】 2,432.94 m²
【ハ. 延べ面積】 4,179.98 m²
【ニ. 検査対象建築設備】 ☒ 換気設備 ☐ 排煙設備 ☒ 非常用の照明装置
☐ 給水設備及び排水設備

【2. 確認済証交付年月日等】

【イ. 確認済証交付年月日】 平成 10 年 4 月 3 日 第 3-2 号
【ロ. 確認済証交付者】 ☒ 建築主事 ☐ 指定確認検査機関 ()
【ハ. 検査済証交付年月日】 平成 10 年 12 月 25 日 第 号
【ニ. 検査済証交付者】 ☒ 建築主事 ☐ 指定確認検査機関 ()

【3. 検査日等】

【イ. 今回の検査】 令和 7 年 4 月 22 日 実施
【ロ. 前回の検査】 ☒ 実施 (6 年 4 月 4 日 報告) ☐ 未実施
【ハ. 前回の検査に関する書類写し】 ☒ 有 ☐ 無

【4. 換気設備の検査者】

(代表となる検査者)

【イ. 資格】 (一級) 建築士 (大臣) 登録第 号
建築設備検査員 第 号
【ロ. 氏名のフリガナ】
【ハ. 氏名】
【ニ. 勤務先】 一級建築設計事務所
(一級) 建築士事務所 (和歌山県) 知事登録第 (イ) 号
【ホ. 郵便番号】
【ヘ. 所在地】 和歌山県東牟婁郡
【ト. 電話番号】

(その他の検査者)

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録第 号
建築設備検査員 第 号
【ロ. 氏名のフリガナ】
【ハ. 氏名】
【ニ. 勤務先】
() 建築士事務所 () 知事登録第 号
【ホ. 郵便番号】
【ヘ. 所在地】
【ト. 電話番号】

【5. 換気設備の概要】

【イ. 無窓居室】 ☐ 自然換気設備 (系統 室) ☐ 機械換気設備 (系統 室)
☐ 中央管理方式の空気調和設備 (系統 室)
☐ その他 (系統 室) ☐ 無
【ロ. 火気使用室】 ☐ 自然換気設備 (系統 室) ☒ 機械換気設備 (系統 室)
☐ その他 (系統 室) ☐ 無
【ハ. 居室等】 ☐ 自然換気設備 (系統 室) ☐ 機械換気設備 (系統 室)
☐ 中央管理方式の空気調和設備 (系統 室)
☐ その他 (系統 室) ☐ 無

【ニ. 防火ダンパーの有無】 ☐ 有 ☒ 無

【6. 換気設備の検査の状況】

【イ. 指摘の内容】 ☐ 要是正の指摘あり (☐ 既存不適格) ☒ 指摘なし
【ロ. 指摘の概要】
【ハ. 改善予定の有無】 ☐ 有 (令和 年 月に改善予定) ☒ 無

【7. 換気設備の不具合の発生状況】

【イ. 不具合】 ☐ 有 ☒ 無
【ロ. 不具合記録】 ☐ 有 ☒ 無
【ハ. 改善の状況】 ☐ 実施済 ☐ 改善予定 (令和 年 月に改善予定) ☐ 予定なし
(設備報告)

【8. 排煙設備の検査者】

(代表となる検査者)

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録第 号
建築設備検査員 第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】

() 建築士事務所 () 知事登録第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

(その他の検査者)

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録第 号
建築設備検査員 第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】

() 建築士事務所 () 知事登録第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

【9. 排煙設備の概要】

【イ. 避難安全検証法等の適用】 ☐ 階避難安全検証法 (階) ☐ 全館避難安全検証法
☐ 区画避難安全検証法 (階) ☐ その他 ()

【ロ. 特別避難階段の階段室又は付室】

☐ 吸引式 (区画) ☐ 給気式 (区画) ☐ 加圧式 (区画) ☐ 無

【ハ. 非常用エレベーターの昇降路又は乗降ロビー】

☐ 吸引式 (区画) ☐ 給気式 (区画) ☐ 加圧式 (区画) ☐ 無

【ニ. 非常用エレベーターの乗降ロビーの用に供する付室】

☐ 吸引式 (区画) ☐ 給気式 (区画) ☐ 加圧式 (区画) ☐ 無

【ホ. 居室等】

☐ 吸引式 (区画) ☐ 給気式 (区画) ☐ 無

【ヘ. 予備電源】

☐ 蓄電池 ☐ 自家用発電装置 ☐ 直結エンジン ☐ その他 ()

【10. 排煙設備の検査の状況】

【イ. 指摘の内容】 ☐ 要是正の指摘あり (☐ 既存不適格) ☐ 指摘なし

【ロ. 指摘の概要】

【ハ. 改善予定の有無】 ☐ 有 (令和 年 月に改善予定) ☐ 無

【11. 排煙設備の不具合の発生状況】

【イ. 不具合】 ☐ 有 ☐ 無

【ロ. 不具合記録】 ☐ 有 ☐ 無

【ハ. 改善の状況】 ☐ 実施済 ☐ 改善予定 (令和 年 月に改善予定) ☐ 予定なし

【12. 非常用の照明装置の検査者】

(代表となる検査者)

【イ. 資格】 (一級) 建築士 (大臣) 登録第 号
建築設備検査員 第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】

(一級) 建築士事務所 (和歌山県) 知事登録第 (イ) 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】 和歌山県東牟婁郡

【ト. 電話番号】

(その他の検査者)

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録第 号
建築設備検査員 第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】

() 建築士事務所 () 知事登録第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

【13. 非常用の照明装置の概要】

- 【イ. 照明器具】 ☒ 白熱灯 (187 灯) ☒ 蛍光灯 (3 灯) ☐ その他 (灯)
☐ LEDランプ (灯)
【ロ. 予備電源】 ☒ 蓄電池 (内蔵形) (居室 105 灯、廊下 74 灯、階段 8 灯)
☐ 蓄電池 (別置形) (居室 灯、廊下 灯、階段 灯)
☐ 自家発電装置 (居室 灯、廊下 灯、階段 灯)
☐ 蓄電池 (別置形)・自家発電装置併用 (居室 灯、廊下 灯、階段 灯)
☐ その他 ()

【14. 非常用の照明装置の検査の状況】

- 【イ. 指摘の内容】 ☒ 要是正の指摘あり (☐ 既存不適格) ☐ 指摘なし
【ロ. 指摘の概要】 非常用照明器具の不具合 器具の交換 電池替え
【ハ. 改善予定の有無】 ☐ 有 (令和 年 月に改善予定) ☒ 無

【15. 非常用の照明装置の不具合の発生状況】

- 【イ. 不具合】 ☒ 有 ☐ 無
【ロ. 不具合記録】 ☐ 有 ☐ 無
【ハ. 改善の状況】 ☐ 実施済 ☐ 改善予定 (令和 年 月に改善予定) ☒ 予定なし

【16. 給水設備及び排水設備の検査者】

(代表となる検査者)

- 【イ. 資格】 () 建築士 () 登録第 号
建築設備検査員 第 号
【ロ. 氏名のフリガナ】
【ハ. 氏名】
【ニ. 勤務先】
() 建築士事務所 () 知事登録第 号
【ホ. 郵便番号】
【ヘ. 所在地】
【ト. 電話番号】

(その他の検査者)

- 【イ. 資格】 () 建築士 () 登録第 号
建築設備検査員 第 号
【ロ. 氏名のフリガナ】
【ハ. 氏名】
【ニ. 勤務先】
() 建築士事務所 () 知事登録第 号
【ホ. 郵便番号】
【ヘ. 所在地】
【ト. 電話番号】

【17. 給水設備及び排水設備の概要】

- 【イ. 飲料水の配管設備】 ☐ 給水タンク (基 m³) ☐ 貯水タンク 基 m³)
☐ その他 ()
【ロ. 排水設備】 ☐ 排水槽 (☐ 汚水槽 ☐ 雑排水槽 ☐ 合併槽 ☐ 雨水槽・湧水槽)
☐ 排水再利用配管設備 ☐ その他 ()
【ハ. 圧力タンクの有無】 ☐ 有 ☐ 無
【ニ. 給湯方式】 ☐ 局所式 ☐ 中央式
【ホ. 湯沸器】 ☐ 開放式燃焼器 ☐ 半密閉式燃焼器 ☐ 密閉式燃焼器
☐ その他 ()

【18. 給水設備及び排水設備の検査の状況】

- 【イ. 指摘の内容】 ☐ 要是正の指摘あり (☐ 既存不適格) ☐ 指摘なし
【ロ. 指摘の概要】
【ハ. 改善予定の有無】 ☐ 有 (令和 年 月に改善予定) ☐ 無

【19. 給水設備及び排水設備の不具合の発生状況】

- 【イ. 不具合】 ☐ 有 ☐ 無
【ロ. 不具合記録】 ☐ 有 ☐ 無
【ハ. 改善の状況】 ☐ 実施済 ☐ 改善予定 (令和 年 月に改善予定) ☐ 予定なし

【20. 備考】

(第三面)

建築設備に係る不具合等の状況

【1. 換気設備】

不具合等を把握した年月	不具合等の概要	考えられる原因	改善（予定）年月	改善措置の概要等

【2. 排煙設備】

不具合等を把握した年月	不具合等の概要	考えられる原因	改善（予定）年月	改善措置の概要等

【3. 非常用の照明装置】

不具合等を把握した年月	不具合等の概要	考えられる原因	改善（予定）年月	改善措置の概要等
令和7.4.22	非常用照明器具の不具合	器具の交換 蓄電池替え		器具の交換 蓄電池の替え

【4. 給水設備及び排水設備】

不具合等を把握した年月	不具合等の概要	考えられる原因	改善（予定）年月	改善措置の概要等

別記第一号様式

検査結果表
(換気設備)

当該検査に 関与した検 査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		461
	その他の検査者		

番 号	検 査 項 目 等			検査結果			担当 検査 者番 号
				指摘 なし	要是正		
					既存 不適格		
1. 法第28条第2項又は第3項の規定に基づき換気設備が設けられた居室（換気設備を設けるべき調理室等を除く。）							
(1)	機械換気設備	機械換気設備（中央管理方式の空気調和設備を含む。）の外観	給気機の外気取り入れ口並びに直接外気に開放された給気口及び排気口への雨水等の防止措置の状況				
(2)			給気機の外気取り入れ口及び排気機の排気口の取付けの状況				
(3)			各居室の給気口及び排気口の設置位置				
(4)			各居室の給気口及び排気口の取付けの状況				
(5)			風道の取付けの状況				
(6)			風道の材質				
(7)			給気機又は排気機の設置の状況				
(8)			換気扇による換気の状況				
(9)	機械換気設備（中央管理方式の空気調和設備を含む。）の性	空気調和設備の主要機器及び配管の外観	各居室の換気量				
(10)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況				
(11)	中央管理方式の空気調和設備	空気調和設備の性能	空気調和設備の設置の状況				
(12)			空気調和設備及び配管の劣化及び損傷の状況				
(13)			空気調和設備の運転の状況				
(14)			空気ろ過器の点検口				
(15)			冷却塔と建築物の他の部分との離隔距離				
(16)			各居室の温度				
(17)			各居室の相対湿度				
(18)			各居室の浮遊粉じん量				
(19)			各居室の一酸化炭素含有率				
(20)			各居室の二酸化炭素含有率				
(21)		各居室の気流					
2. 換気設備を設けるべき調理室等							
(1)	自然換気設備及び機械換気設備	排気筒、排気フード及び煙突の材質	レ				
(2)		排気筒、排気フード及び煙突の取付けの状況					
(3)		給気口、給気筒、排気口、排気筒、排気フード及び煙突の大きさ	レ				
(4)		給気口、排気口及び排気フードの位置	レ				
(5)		給気口、給気筒、排気口、排気筒、排気フード及び煙突の設置の状況					
(6)		排気筒及び煙突の断熱の状況					
(7)		排気筒及び煙突と可燃物、電線等との離隔距離					
(8)		煙突等への防火ダンパー、風道等の設置の状況					
(9)	自然換気設備	煙突の先端の立ち上がりの状況（密閉型燃焼器具の煙突を除く。）					
(10)	機械換気設備	煙突に連結した排気筒及び半密閉式瞬間湯沸器等の設置の状況					
(11)		換気扇による換気の状況	レ				
(12)		給気機又は排気機の設置の状況					
(13)		機械換気設備の換気量					

番 号	検 査 項 目 等	検査結果			担当 検査者 番号
		指摘 なし	要是正	既存 不適格	
3. 法第28条第2項又は第3項の規定に基づき換気設備が設けられた居室					
(1)	防火	防火ダンパーの設置の状況			
(2)	ダン	防火ダンパーの取付けの状況			
(3)	パー	防火ダンパーの作動の状況			
(4)	等	防火ダンパーの劣化及び損傷の状況			
(5)	(外壁 の開口 部で延 焼の恐 れのあ る部分 に設け るもの を除く)	防火ダンパーの点検口の有無及び大きさ並びに検査口の有無			
(6)		防火ダンパーの温度ヒューズ			
(7)		防火区画の貫通措置の状況			
(8)		連動型防火ダンパーの煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器の位置			
(9)		連動型防火ダンパーの煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器との連動の状況			
4. 上記以外の検査項目等					
特記事項					
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等		改善 (予定) 年月

(注意)

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の6様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 検査対象建築物に換気設備がない場合は、この様式は省略して構いません。
- ⑤ 該当しない検査項目等がある場合は、「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑥ 「検査結果」欄は、別表第1(ろ)欄に掲げる各検査項目ごとに記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表第1(ろ)欄に掲げる検査項目について同表(に)欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑦に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑨ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑩ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑪ 1(9)「各居室の換気量」については、法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室(換気設備を設けるべき調理室等を除く。)の換気状況評価表(別表1)を添付してください。
- ⑫ 2(13)「機械換気設備の換気量」については、換気設備を設けるべき調理室等の換気風量測定表(別表2)を添付してください。
- ⑬ 4「上記以外の検査項目等」は、第2ただし書の規定により特定行政庁が検査項目等を追加したとき又は第2第2項の規定により検査の方法を記載した図書があるときに、特定行政庁が追加した検査項目等又は第2第2項に記載されている検査項目等を追加し、⑥から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目等がない場合は、4は削除してかまいません。
- ⑭ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は、「改善(予定)年月」欄に当該年月を()書きで記入してください。
- ⑮ 要是正とされた検査項目(既存不適格の場合を除く。)については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添の様式に従い添付してください。

別記第三号様式

検査結果表
(非常用の照明装置)

当該検査 に 関与 した 検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		461
	その他の検査者		

番号	検 査 項 目 等		検査結果			担当 検査 者番 号
			指摘 なし	要是正	既存 不適 格	
1. 照明器具						
(1)	非照 常明 用器 具	使用電球、ランプ等		√		
(2)		照明器具の取付けの状況	√			
2. 電池内蔵形の蓄電池、電源別置形の蓄電池及び自家用発電装置						
(1)	予備電源	予備電源への切替え及び器具の点灯の状況並びに予備電源の性能		√		
(2)	照度	照度の状況		√		
(3)	分電盤	非常用電源分岐回路の表示の状況				
(4)	配線	配電管等の防火区画貫通措置の状況（隠蔽部分及び埋設部分は除く。）				
3. 電源別置形の蓄電池及び自家用発電装置						
(1)	配 線	照明器具の取付け状況及び配線の接続の状況（隠蔽部分及び埋設部分は除く。）				
(2)		電気回路の接続の状況				
(3)		接続部（幹線分岐及びボックス内に限る。）の耐熱処理の状況				
(4)		予備電源から非常用の照明器具間の配線の耐熱処理の状況（隠蔽部分及び埋設部分は除く。）				
(5)	切回	常用の電源から蓄電池設備への切替えの状況				
(6)	替路	蓄電池設備と自家用発電装置併用の場合の切替えの状況				
4. 電池内蔵形の蓄電池						
(1)	配充 線電 及ラ ン プ	充電ランプの点灯の状況		√		
(2)		誘導灯及び非常用照明兼用器具の専用回路の確保の状況				
5. 電源別置形の蓄電池						
(1)	蓄 電 池	蓄電池等の状況	蓄電池室の防火区画等の貫通措置の状況			
(2)			蓄電池室の換気の状況			
(3)			蓄電池の設置の状況			
(4)		蓄電池の性能	電圧			
(5)			電解液比重			
(6)			電解液の温度			
(7)		充電器	充電器室の防火区画等の貫通措置の状況			
(8)			キュービクルの取付けの状況			
6. 自家用発電装置						
(1)	自 家 用 発 電 装 置	自家用発電装置等の状況	自家用発電機室の防火区画等の貫通措置の状況			
(2)			発電機の発電容量			
(3)			発電機及び原動機の状況			
(4)			燃料油、潤滑油及び冷却水の状況			
(5)			始動用の空気槽の圧力			
(6)			セル始動用蓄電池及び電気ケーブルの接続の状況			
(7)			燃料及び冷却水の漏洩の状況			
(8)			計器類及びランプ類の指示及び点灯の状況			
(9)			自家用発電装置の取付けの状況			
(10)			自家用発電機室の給排気の状況（屋内に設置されている場合に限る。）			
(11)			接地線の接続の状況			
(12)			絶縁抵抗			

別表 2 換気設備を設けるべき調理室等の換気風量測定表

測定年月日	令和7年	4月	22日	測定機器		ベーン風速計		型式番号等	D T - 6 1 9	
				使用器具	発熱量(kw)	換気型式 (n)	必要換気量 (m³/h)		開口面積 (m²)	測定風量 (m³/h)
調理室						40・30・20・2				
	スコンロ 3	50.8				40・30・20・2	945	3.7	0.09	1198
						40・30・20・2				
調理室	炊飯器	32.4				40・30・20・2	904	2.9	0.09	939
						40・30・20・2				
						40・30・20・2				
調理室	フライヤー	12				40・30・20・2				
	蒸し器	13.9				40・30・20・2				
	合計	25.9				40・30・20・2	723	3.8	0.09	1231
調理室						40・30・20・2				
	食器洗浄機	37.2				40・30・20・2	1038	3.7	0.09	1198
						40・30・20・2				
						40・30・20・2				
						40・30・20・2				
						40・30・20・2				
						40・30・20・2				
						40・30・20・2				
						40・30・20・2				
						40・30・20・2				

注) 測定風速欄には、原則的に測定した箇所の平均風速を記入する。

別表 3 排煙風量測定記録表 *注1)

測定年月日	年	月	日	測定機器 メーカー名	型式番号等	
1	排煙機系統 (機器番号等)			排煙機銘板表示		排煙機の規定風量
				最大防煙区画面積	m ² × 1 or 2 =	m ³ /min

2	排煙口					判定
階	室名	排煙口面積 (m ²)	測定風速 (m/s) *注2)	測定風量 (m ³ /min)	規定風量 (m ³ /min)	
						指摘なし・要是正
						指摘なし・要是正
						指摘なし・要是正
						指摘なし・要是正
						指摘なし・要是正

3	排煙機					判定
排煙機 (番号等)	煙排出口面積 (m ²)	測定風速 (m/s) *注2)	測定風量 (m ³ /min)	規定風量 (m ³ /min)		指摘なし・要是正

4	直結エンジン (内燃エンジン) の有無	予備電源又は直結エンジン切り替え	排煙口配置・系統図 (排煙機と排煙口の対応関係がわかる図を記入すること)			
	有 ・ 無	指摘なし・要是正				

5

注1) 本記録表は、排煙機系統ごとに記入する。
注2) 「測定風速」欄には、原則として測定した箇所の平均風速を記入する。
注3) 自主点検等による排煙風量測定記録がある場合は、実施時期、測定方法、測定値等が適正であるか否かを判定すること。

別表 3-2 排煙風量測定記録表 給気式 (特殊な構造の排煙設備)

測定年月日	年	月	日	測定機器 メーカー名	型式番号等
1	給気送風機系統 (機器番号等)		給気送風機銘板表示		
			給気送風機の性能 (風量)		
			m ³ /min		

2	排煙口				判定
	階	室	名	排煙口面積 (m ²)	測定風速 (m/s) *注1
					測定風量 (m ³ /min)
					規定風量 (m ³ /min)
					指摘なし・要是正
					指摘なし・要是正

3	給気送風機				判定
	吸込口面積 (m ²)	測定風速 (m/s) *注1	測定風量 (m ³ /min)	規定風量 (m ³ /min)	
					指摘なし・要是正

4	直結エンジン (内燃エンジン) の有無	予備電源又は直結エンジン切り替え
	有・無	指摘なし・要是正

5	排煙系統図 (給気送風機と排煙口の対応関係がわかる図を記入すること)

注 1) 「測定風量」欄には、原則として測定した箇所の平均風速を記入する。
注 2) 自主点検等による排煙風量測定記録がある場合は、実施時期、測定方法、測定値等が適正であるか否かを判定すること。

別表 3-3 排煙風量測定記録表 加圧式 (加圧防排煙設備)

測定年月日	年	月	日	測定機器 メーカー名	型式番号等
1		給気送風機系統 (機器番号等)		給気送風機銘板表示	
				給気送風機の性能 (風量)	
				m³/min	

遮 煙 開 口 部 ・ 空 気 逃 し 口						判 定		
階	室 名	空気逃し口的方式*註1)	測定排出風速*註2) (m/s)	規定排出風速*註3) (m/s)	算定式*註3)		遮煙開口部の高さ (m)	
2		1. 自然方式 2. 機械方式 3. 併用方式	☐ ☐ ☐					指摘なし・要是正
		1. 自然方式 2. 機械方式 3. 併用方式	☐ ☐ ☐					指摘なし・要是正
		1. 自然方式 2. 機械方式 3. 併用方式	☐ ☐ ☐					指摘なし・要是正
		1. 自然方式 2. 機械方式 3. 併用方式	☐ ☐ ☐					指摘なし・要是正

3	直結エンジン (内燃エンジン) の有無	予備電源又は直結エンジン切り替え
	有 ・ 無	指摘なし・要是正

4	排煙系統図 (給気送風機と空気逃し口の対応関係がわかる図を記入すること)

注 1) 「空気逃し口的方式」欄には、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れる。
注 2) 「測定排出風速」欄には、原則として測定した箇所の平均風速を記入する。
注 3) 隣接室を区画する当該区画の仕様及び隣接室の仕様に応じて、規定排出風速Vの算定式を以下の①から③のいずれかを選択し、「算定式」欄に記入する。また、当該算定式により排出風速を算出し、「規定排出風速」欄に記入する。この場合において、Vは排出風速、Hは遮煙開口部の高さを表す。
① $V=2.7\sqrt{H}$ ② $V=3.3\sqrt{H}$ ③ $V=3.8\sqrt{H}$
注 4) 自主点検等による風速規定記録がある場合は、実施時期、測定方法、測定値等が適正であるかを否かを判定すること。

別表 4 非常用の照明装置の照度測定表

測定年月日	令和7年	4月	22日	測定機器メーカー名	CUSTOM	型式番号等	LX-1000
光源の種類	階			最低照度の測定場所		最低照度 (lx)	判定
				部屋・廊下等			
白熱灯	3階			客室315		4	指摘なし・要是正
蛍光灯							指摘なし・要是正
その他 ()							指摘なし・要是正

(別紙)

階別	測定場所	測定位置*注1	光源の種類*注2	照度 (lx)
1階	大広間	左	白熱灯	9
	ローカ	便所前	白熱灯	7
2階	客室204	上側	白熱灯	22
	客室215	入り口	白熱灯	5
3階	ローカ	左側エレベーター横	白熱灯	4
	ローカ	客室309前	白熱灯	6
	客室304	洋室	白熱灯	8
	客室315	入り口	白熱灯	4

注1) 「測定位置」欄には、「出入口付近」、「右壁中央付近」のように明記する。

注2) 「光源の種類」欄には、白熱灯、蛍光灯、その他（大臣認定LED）の別及び電池内蔵のものにあっては、（内）と付す。

別添様式 関係写真

写真番号			
部位	番号	検査項目等	検査結果
		ローカ	☒ 要是正 ☐ その他
			特記事項
			器具交換

写真番号			
部位	番号	検査項目等	検査結果
		客室 303	☒ 要是正 ☐ その他
			特記事項
			器具交換

(注意)

- ① この書類は、検査の結果「要是正」かつ「既存不適格」ではない項目について作成してください。また、「既存不適格」及び「指摘なし」の項目等についても、特記すべき事項があれば、必要に応じて作成してください。
「要是正」の項目等がない場合は、この書類は省略しても構いません。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「部位」欄の「番号」、「検査項目等」は、それぞれ別記第一号様式から第四号様式の番号、検査項目等に対応したものを記入してください。
- ④ 「検査結果」欄は、検査の結果「要是正の指摘あり」の場合は「要是正」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、それ以外の場合で特記すべき事項がある場合は「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑤ 写真は、当該部位の外観の状況が確認できるように撮影したものを添付してください。

防火設備定期検査結果報告書

令和 7 年 4 月 22 日

管 理 者（所有者）氏 名 国民宿舎あらふねリゾート代表 渡辺千鶴香

検 査 者 所 属 名 称 1 級建築設計事務所

代表者氏名

検査者氏名

下記建築物の防火設備について検査した結果は別紙のとおりです。

記

1. 建 築 物 名 称 国民宿舎あらふねリゾート

所 在 地 和歌山県東牟婁郡串本町田原 2 5 1 8 - 1 2 5 1 9 - 1

検査年月日 令和 7 年 4 月 22 日 ～ 月 日

2. 検 査 者

(代表となる検査者) (番号)

【イ. 資格】 (1 級) 建築士 (大臣) 登録第 号
防火設備検査員 第 号

【ロ. 氏名】

【ハ. 勤務先】 1 級建築設計事務所

(一級) 建築士事務所 (和歌山県) 知事登録第 (イ)

【ニ. 郵便番号】

【ホ. 所在地】 和歌山県東牟婁郡

【ヘ. 電話番号】

(その他の検査者) (番号)

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録第 号
防火設備検査員 第 号

【ロ. 氏名】

【ハ. 勤務先】

() 建築士事務所 () 知事登録第 号

【ニ. 郵便番号】

【ホ. 所在地】

【ヘ. 電話番号】